

守口市市民ワークショップ
報告書

令和2年3月

守口市

< 目次 >

1. 実施概要.....	2
(1) 目的.....	2
(2) 方法.....	2
2. 子育て世代インタビュー.....	2
(1) 実施方法.....	3
(2) 実施結果.....	3
① 回答者属性.....	3
② 住み始めたきっかけ・理由.....	4
③ (転入の場合)他市との検討の有無.....	4
④ (転入の場合)守口市に決めた理由と、参考にした情報.....	5
⑤ 守口市で生活をしていてよかったと思うこと.....	5
⑥ 守口市の取り組みや情報を得る手段.....	6
⑦ 守口市への要望.....	6
⑧ 今後守口市に住み続ける意向・転居検討の理由.....	7
3. 守口市民まつり来場者インタビュー.....	8
(1) 実施方法.....	8
(2) 実施結果.....	9
① 住まいの意向.....	9
② 守口市の魅力.....	10
③ 守口市の課題.....	13

1. 実施概要

(1) 目的

第6次総合基本計画を策定するにあたり、本市の魅力と課題についての市民意識、施策に関するニーズを把握するとともに、市の取組への市民参加・市民参画を促す。

(2) 方法

・実施時期

令和元年9月～11月

・実施形態

インタビュー形式により幅広い層から意見を聴取した。

タイプ	参加者	方法	利点	企画内容
インタビュー	不特定多数の市民 (特に若者、子育て層)	人が集まる ところに出向き、 本市の魅力と課題 を聞き取る。	市役所と接点が少 ない市民の声 が聞ける。通常 のワークショップ より多くの声 が聞ける。	子育て世代 インタビュー 守口市民まつり 来場者インタ ビュー

・実施状況

日程	実施内容
令和元年9月5日(木)	子育て世代インタビュー 子育て世代包括支援センター「あえる」
令和元年11月3日(日)	守口市民まつり来場者インタビュー 大枝公園

2. 子育て世代インタビュー

(1) 実施方法

日時 令和元年9月5日 10:00~12:00

場所 子育て世代包括支援センター「あえる」 (以下、「あえる」)

回答者 「あえる」利用者10名

(2) 実施結果

※ () 内数字は人数

① 回答者属性

・ 居住地域

回答者の全員が、守口市内居住者であった。

・八雲北町 ・大庭町 ・大日町 ・大日東町 ・大久保町 ・市役所(「あえる」)の近く(3) ・西郷通、千林付近

・ 居住歴

回答者の半数が守口市出身者、残り半数が他市(主に近隣市)からの転入者であった。

・生まれてからこれまで守口市 (結婚後、市内で転居)(2)	・寺方→(結婚後)大庭町 ・梶町→(結婚後)大日東町
・守口市出身、一度市外に転出し、 再び守口市(3)	・守口市→摂津市→守口市 ・守口市→他市10年→守口市3年 ・守口市→大阪市天王寺区1年→守口市
・他市からの転入(5)	・大阪市旭区→守口市4年 ・寝屋川市→守口市3年 ・九州出身→枚方市→守口市3年 ・大阪市旭区→守口市1年半 ・大阪市→守口市2カ月

・ 家族構成

回答者の全員が、未就学児の子どもを持つ母親であった。同居の状況をみると、核家族世帯での同居が最も多く、次いで三世代での同居が多かった。

三世代	<ul style="list-style-type: none"> ・祖母、母、子(4か月) ・夫の両親、夫、子ども(1歳半、5歳)
核家族	<ul style="list-style-type: none"> ・夫(単身赴任中)、子ども3人(2歳、小1、小5)
	<ul style="list-style-type: none"> ・夫、子ども2人(2か月、1歳7か月)
	<ul style="list-style-type: none"> ・夫、子ども2人(1歳、4歳) ・夫、子ども2人(10か月、3歳) ・夫、子ども2人(8か月、4歳)
	<ul style="list-style-type: none"> ・夫、子ども1人(1歳3か月) ・夫、子ども1人(1歳2か月) ・夫、子ども1人(5か月)

②住み始めたきっかけ・理由

守口市に住むきっかけとしては、守口市および近隣市で育った、夫の実家があるなど、もともと本人や家族が守口市に関わりがある場合が多かった。

<ul style="list-style-type: none"> ・生まれてからずっと守口市(結婚後、市内で転居)(2) ・守口市の実家に同居(2) ・実家が守口市に近い(実家が守口市、寝屋川)(2) ・夫の職場の近く(2) ・近隣市から(2) <p>(枚方市に住んでいたが、守口市は子育てに力を入れているから。持家購入。)</p> <p>(大阪市旭区に住んでいたので守口市にも慣れていた。商店街に魅力を感じた。)</p>
--

③(転入の場合)他市との検討の有無

守口市へ転入した人が他に検討した市としては、近隣市(門真市、寝屋川市、摂津市、大阪市)があげられた。「子育てしやすい環境」として豊中市を検討した人もいた。

一方、守口市が子育てに力を入れているから他市は検討しなかったという意見もあった。

他市を検討していない(4)	他市を検討した(4)
<ul style="list-style-type: none"> ・大日に来たのは子育て世代に良いと聞いたから。近隣の市は考えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・門真市 ・豊中市(子育てしやすい環境) ・門真市、寝屋川市 ・大阪市(自分の実家の近く)

④(転入の場合)守口市に決めた理由と、参考にした情報

他市も検討した人が守口市に決めた理由として、近隣市より環境(風景)や治安がよい、商店街が魅力などがあげられた。

参考にした情報として、不動産屋のホームページは参考にしたが市のホームページは分かりにくいという意見があった。

- ・子育てしやすいような豊中市も検討したが、守口の方が慣れていたし、商店街も魅力だった。
- ・門真市、寝屋川市も検討したが、街の風景を比べた際に守口の方が良いと思った。都会すぎず、住宅地すぎずないところが良い。
- ・門真市の方が治安に不安がある。
- ・自分の実家の大阪市も検討したが、守口市の方が夫の職場が近いから。夫が守口市出身。大阪市との違いはあまり分からない。

⑤守口市で生活をしてよかったと思うこと

守口市で生活をしてよかったと思うことは、子育て支援に力を入れている・子育てしやすい、交通・買い物の利便性が良いことが多くあげられた。他に、車がなくても自転車で移動しやすい、大きな医療施設がある、物価が安いなどの意見もあった。

- ・子育てに力を入れている。(保育所無償化。一方、待機児童が増えるのではないか)
- ・職場(大阪市内)に近い。栄えている。住みやすい。子育てしやすい。
- ・職場に近い。
- ・交通や買い物が便利(イオンにキッズスペースがある)
- ・交通の便がよい。イオン、病院が大きい。生活しやすい。摂津市と比べてとても便利。
- ・大阪市へも京都へも交通の利便性が高い。買い物が便利。実家の寝屋川市は車の通りが激しいので良くない。
- ・電車や買い物が便利。車がなくても自転車で移動しやすい。
- ・梅田に行きやすい、出かけやすい。
- ・天王寺の方が何でもあるが、物価は守口の方が安い。
- ・まだわからない。

⑥守口市の取り組みや情報を得る手段

守口市の取り組みや情報を得る手段として、市の広報、ホームページ、ママ友からの口コミなどが多くあげられた。ママ友からの口コミから情報を得ると回答した人全員が、2人以上子どもがいる人であった。一方で、守口市が地元出身でない、同じマンションの同世代は顔見知り程度という理由から、情報が得にくいという意見もあった。

- ・市の広報(4)
- ・市のホームページ(2)
(ホームページはよく見る。今まで「あえる」に行ったことはなかったが、ホームページで調べていたら新設されたと知った。)
- ・ママ友からの口コミ(3)(全員2子以上)
(家族やママ友からの口コミ。同じマンションの同世代は顔見知り程度。)
(ママ同士の情報交換の場(カフェ)がある。)
- ・フリーペーパー。市のアプリは知らない。
- ・地元出身でないので情報を得にくい。ツイッター、SNS、ホームページを見る。
- ・「あえる」の情報は保健センターに行った時に見つけた。
- ・「あえる」があることは、市役所に行った時に偶然知った。
- ・市の情報は知らない。防災マップは見ている。もり吉も良い。
- ・地域情報サイト(号外ネット)

⑦守口市への要望

守口市への要望としては、子どもの遊び場の充実(室内の遊び場、乳児用マットやおもちゃ、大きな子ども向けに大枝公園のような公園など)が多かった。また、こども園の給食、地区による小学校整備の格差、歩道の整備に対する要望があった。

- ・室内で遊べる所がもっと増えればよい。(2)(室内は空調が気になる。)
- ・赤ちゃんが遊べる所(マットやおもちゃがある所)が少ない。
- ・大枝公園まで遠いので、近くにしっかりした公園がほしい。小さい子向けの場所がほしい。
(大日在住)
- ・大日南公園は小さい子はいいが、大きい子はボール遊び禁止なのでつまらない。遊具を敷き詰めた方がよい。大枝公園は遠いので東にも欲しい。(大日東在住)
- ・幼稚園児ぐらいの動き回る子が体をたくさん動かして遊べる所があるといい。有料な所が多いため、気軽に遊べる場所があればいい(特に夏場)。
- ・「あえる」は赤ちゃんがいて危ないので、上の子を連れて来られない。上の子と下の子が一緒に遊べる場が欲しい。
- ・公立園(認定こども園)での給食・おやつ栄養バランスが心配。(塩辛いジャンクなおやつ、栄養の偏りがある。ご飯と汁ものだけでなく、副菜をつけてほしい。)
- ・地域によって、小学校の新設や合併、設備(プールなど)の差が大きい。(大庭町在住)
- ・歩道に凹凸があり、自転車やベビーカーで通るのが怖い。裏道も車がとても多い。(八雲北町在住)

⑧今後守口市に住み続ける意向・転居検討の理由

守口市に住み続ける意向の人がほとんどであるが、転出意向のある人は子どもの小学校入学時を目安としている。

転出・転居意向	理由
転出意向あり	・いずれ出る。上の子どもの小学校入学時に引っ越しを考えるかもしれない。
(市内での)転居意向 ややあり	・このまま住もうかなと思うが、守口市駅周辺がいい。今の家(大庭町)の近くの公園には(大枝公園ぐらいの)きれいな所がない。
転居意向なし(8)	・住み続けたい(3)。 ・実家がありずっと住んでいるので住み慣れている。 ・愛着がある。 ・分譲マンションなので。 ・友達や土地勘があるので。 ・特に不便はないので。

3. 守口市民まつり来場者インタビュー

(1) 実施方法

日時 令和元年11月3日 10:00~15:30

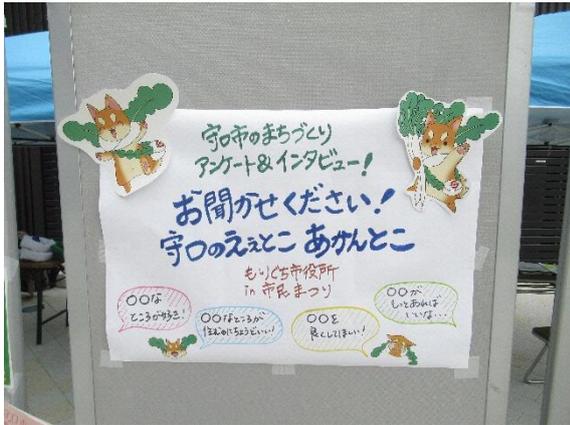
場所 大枝公園

回答者 住まいの意向：172名

守口市の魅力に関するご意見：89件

守口市の課題に関するご意見：97件

図表 1 来場者インタビュー当日の様子



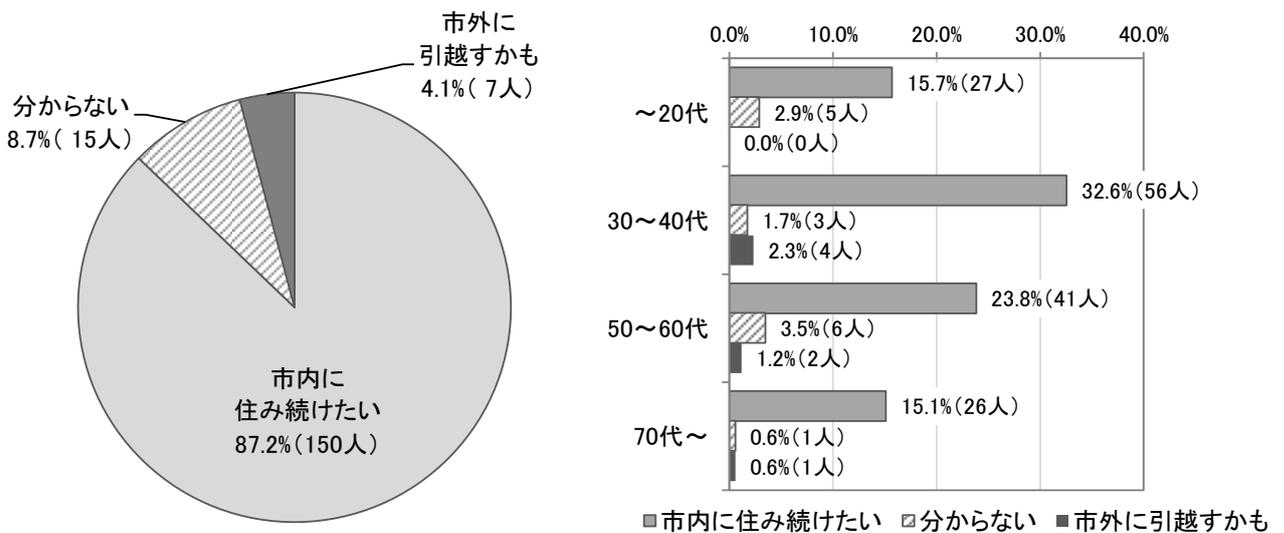
(2) 実施結果

① 住まいの意向

守口市民まつり来場者（市内在住者）172名に、守口市にこれからも住み続けたいかどうか聞いたところ、「市内に住み続けたい」が87.2%と最も多く、次いで「分からない」が8.7%、「市外に引越すかも」が4.1%であった。年代別では、30代～40代で「市内に住み続けたい」と答えた人が最も多かった。

図表 2 住まいの意向

※（ ）内数字は人数



図表 3 シール式アンケート結果



②守口市の魅力

守口市民まつり来場者（市内外在住者）に、守口市の魅力（お薦めできること、好きなところ等）を聞いたところ、89件の意見が出された。子育て環境、公園のきれいさや設備、交通の便が良いなどの意見が多くあげられた。他にも、地域の人やさしさ、まちの親しみやすさ、買い物などの便利さなどの意見があった。



図表 4 守口市の魅力に関する意見一覧

基本計画施策体系	市民の声	年代
1 子ども・子育て支援	保育料、幼児教育の無償化。	～20代、30～40代
	こども園が多い。	～20代
	子育てしやすい。	～20代
	子育て関係の無償化が早かった。	30～40代
	保育園、幼稚園に入りやすい。	30～40代
	子育てに優しい。児童センターも利用する。	30～40代
	子育て環境がよくなってきている。	30～40代
2 青少年	—	
3 学校教育	学校はきれい。	50～60代
4 教育環境	—	
5 人権・多文化共生	—	
6 男女共同参画	—	
7 健康	他の市よりも病院が多く、暮らしやすい。	30～40代
8 地域福祉	—	
9 障がい者福祉	—	
10 高齢者福祉	病院の送迎。	70代以上
	地域の人が優しい。声かけがある。	～20代、50～60代
	みんな優しい、世話好き。マンションのご近所さんと仲良し。	70代以上
	公民館まつり、お茶会もにぎわっている。(300円ぐらい)	70代以上
12 市民協働	—	
13 生涯学習・スポーツ	—	
14 文化	—	
15 防災・減災・縮災	災害（洪水など）が少ない。	30～40代、70代以上
	水はけ、貯水がよくなった。	50～60代
16 消防・救急	—	

基本計画施策体系	市民の声	年代
17 防犯	防犯カメラ 1,000 台設置。	～20 代
	治安が良い。	30～40 代
18 都市空間	まちがきれいになりつつある。	～20 代
	人が多すぎず、少なすぎず。	～20 代
	都会すぎず、田舎すぎない。	30～40 代
	住みやすい。	30～40 代、70 代以上
	庶民的で親しみやすい。	30～40 代、50～60 代
	中くらいのまちでちょうど良い。	50～60 代
	こじんまりとしていてよい。	70 代以上
	まちがきれい、市役所がきれい。	70 代以上
19 住まい	—	
20 緑・花・公園	公園など設備が良い、駅周辺も良い。(数年前はおじいちゃんの街のイメージ)	30～40 代
	公園も多いし、広い、便利、住みやすい。	30～40 代、50～60 代
	近くにある公園がきれいになった。	30～40 代
	大枝公園がきれいになったことで、利用する層が広がった。(家族連れ、スポーツする人)	30～40 代、50～60 代、70 代以上
	大枝公園ができて、他市に引っ越すのをやめました。	50～60 代
	大枝公園でジョギングして 3kg 減量。	50～60 代
	大枝公園は防災設備もあり、安心して楽しく遊べる。雰囲気明るくなった。	50～60 代
	河川敷が好き。	50～60 代
	公園、運動的な場所が改善され散歩、目的によって大変素晴らしいと思います。ありがとう。	70 代以上
21 道路・交通	準急が停まる。	～20 代
	梅田が近い。	～20 代
	交通の便が良い。地下鉄、京阪、モノレール、高速。	～20 代、30～40 代、50～60 代、70 代以上
	駅の近くに大学がある。	～20 代
	便利、駅に近い。	30～40 代
	自転車ですまざまな所に行きやすい。	30～40 代、50～60 代
	大阪市内、京都などさまざまな所に行きやすい。	50～60 代
	大阪市内に出やすい。(大阪駅まで 30～40 分)	70 代以上
	遠い所の友人に会いに行きやすい。(友達と長続きする)	70 代以上
	道路が広い、歩道が歩きやすい、自転車も走りやすい。	70 代以上
22 上下水道	下水道が完備している。	50～60 代

基本計画施策体系	市民の声	年代
23 地域産業	隠れたオシャレカフェがある。	～20代
	スーパーがたくさんあって何でもそろう。	～20代、30～40代
	居酒屋が多い。	30～40代
	大日のショッピングモール、千林の商店街があって便利。	30～40代
	駅前が便利。	30～40代
	物価が安い。	50～60代
	西郷通り、最高。	70代以上
24 魅力創造・発信	若い世代を呼び込もうとする姿勢を感じる。	30～40代
	FM もりぐちが良い。	30～40代
25 環境	しずか。	～20代
26 行財政運営	—	
27 公共サービス	市役所の方がさまざまなこと（例えば婚活（もりこん））を頑張ってる。	～20代
	市役所の方が優しい。市役所にも遊べる場所がある。	30～40代
	もり吉がかわいい。	30～40代
	花火大会はよかった。	50～60代

③守口市の課題

守口市民まつり来場者（市内外在住者）に、守口市の課題（良くなってほしいこと、がんばってほしいこと等）を聞いたところ、97件の意見が出された。遊び場の充実、図書館や文化・学習施設の充実、バスの利便性の向上、商店の活性化などの意見が多くあげられた。他にも、若者向けのイベント・施策の充実、まちの治安の向上、歩道の改善などの意見があった。



図表 5 守口市の課題に関する意見一覧

基本計画施策体系	市民の声	年代
1 子ども・子育て支援	子育てセンターにもっとイベントを増やしてほしい。	30～40代
	妊婦検診の対象年齢が広がるのが遅い。(他市に比べて)	50～60代
2 青少年・若者	—	
3 学校教育	小中学校の学力が低い。	30～40代
	子どもの学力を伸ばす政策を強化してほしい。	30～40代
4 教育環境	—	
5 人権・多文化共生	子どもの虐待などきちんと調べてほしい、対応してほしい。(近隣の虐待の様子が変わっていない)	70代以上
6 男女共同参画	—	
7 健康	検診の内容を充実。(胃カメラなど)	30～40代
	土居公園で子どもたちが遊んでいるなかでの喫煙をやめてほしい。	30～40代
	全ての場所で路上喫煙をなくしてほしい。	50～60代
	市民病院ができたらいいい。	50～60代
8 地域福祉	—	
9 障がい者福祉	—	
10 高齢者福祉	—	
11 コミュニティ活動	若い人向けのイベントが少ない。(イベント、お祭りが縮小してる)	～20代
	コミュニティセンターなどで市のイベントや催しをもっと行ってほしい。	30～40代、50～60代
	イベント以外、人があまりいない。	30～40代
	市民同士で古本交換会をしてほしい。	70代以上
	自治会の活動ができない人が増えている。(近所の人の高齢化)	70代以上
	東部コミュニティセンターの場所がわかりにくい。	70代以上
12 市民協働	—	

基本計画施策体系	市民の声	年代
13 生涯学習・スポーツ	遊べる種類が増えてほしい。(トランポリンとか)	～20代
	プールがない。体育館をきれいにしてほしい。	30～40代、50～60代
	市民会館がない。	30～40代
	スケートリンクが閉鎖。(授業でもスケートリンクに行った)	30～40代
	自習室を作ってほしい。(休日使っていないスペースの有効活用)	30～40代
	図書館をもっとしっかりしたものに。TSUTAYAの図書館ができてほしい。	50～60代
	新書版を図書館に置いてほしい。(単行本は分厚い、重い、かさばる)	70代以上
	音楽関係のことに手を引いた。もっと音楽や文化的なことに力を入れてほしい。(門真が音楽の町になっている)	70代以上
	市主催の資格の勉強会がない。(ファイナンシャルプランナー、簿記、介護など、育休中に受けられればいい)	50～60代
14 文化	旧中西家住宅での手作り市は楽しい。ライブ、コーヒーの催しを、もっとしてほしい。	70代以上
	守口市駅に文化的なホールを。	70代以上
15 防災・減災・縮災	—	
16 消防・救急	—	
17 防犯	治安が良くない。	～20代
	不審者情報が多いと感じる。子どもが安心して歩けるようにしてほしい。	30～40代
	街中にもっと電気をつけてほしい。(夜道が暗いところも)	70代以上
18 都市空間	地価が高い。空き家を活用してほしい。	～20代
	大枝公園だけでなく、いろいろな施設がきれいになってほしい。	30～40代
	ゴミゴミしている。	50～60代
	市が広くて全体がよくわからない。	70代以上
19 住まい	住宅街がぎゅうぎゅうしているイメージがある。	30～40代
	マンションが少ない。	30～40代
	自分が亡くなった後、借地を更地にして返せるか不安。(お金が数百万かかる)	70代以上
20 緑・花・公園	緑が少ない。	～20代
	ボール遊びができる公園がない。学校だけでしかできない。	30～40代
	土居公園の遊具がどんどんなくなっている。	30～40代
	公園に鉄棒がほしい。(小学生用)	30～40代
	小さな子どもが遊べる公園がもっとあるといい。	30～40代、70代以上

基本計画施策体系	市民の声	年代
20 緑・花・公園 (続き)	公園の砂場が汚い。嫌な臭いがするので何とかしてほしい。	30～40代、70代以上
	公園のトイレ(ロボット公園)をきれいにしてほしい。	30～40代
	大枝公園のトイレが遠い。(今あるトイレの反対側にもトイレがほしい)	30～40代
	庭窪方面にはオープンスペース(大枝公園のような)が少ない、ゴミゴミ感がある。	50～60代
	犬の散歩のために、土が多い所もあるといい。	50～60代
21 道路・交通	一方通行の道が多い。	～20代
	空き家物件をつぶして道路を広くしてほしい。	～20代
	愛のみのり号が用事のある時間帯に使えない(3ヶ月健診の時など)。「あえる」に行きづらい。	30～40代
	バスの本数が少ない。(特に帰りの時間帯)バスが小さい(バスが不便で出不精になる)。不便。	30～40代、50～60代、70代以上
	子育て層がバスが使いやすいように。	30～40代
	自転車のマナーが悪い。	30～40代、70代以上
	京阪の特急が停まればいい。	30～40代
	交通量が多い。	30～40代
	隣の東大阪に行きづらい。	30～40代
	寺方あたりの信号が少ないので怖い。	30～40代
	道路をきれいにしてほしい。道がガタガタ、段差があってベビーカーを押しにくい。	30～40代、70代以上
	地下鉄を大日から延伸してほしい。(少し不便)	50～60代
	道路整備 車道と自転車、歩道が分かれていない。	50～60代
	駐輪場の場所がわかりにくい。駐輪場の無料の時間を長くしてほしい。	50～60代
	コミュニティバスが便利だがイオンのロータリーにも停めてほしい。	70代以上
	道がわかりにくいところがある。	70代以上
	歩道に物が置いてあり、歩きづらい。(住宅街、商店街)	70代以上
駅付近に自転車置き場を増やしてほしい。(有料でよい)	70代以上	
歩道に切り出し(下げ)が車イスでは不便。	70代以上	
22 上下水道	水道料金が高い。	30～40代
23 地域産業	おいしいお店やオシャレなお店があるが、知られていない。	～20代
	大和田付近、お店が少ない。	～20代
	寝屋川にあるような有料の遊び場がほしい。	～20代
	ヨドバシカメラみたいなものができてほしい。	～20代
	服屋さん、本屋さんが京阪モール以外にもあってほしい。	30～40代

基本計画施策体系	市民の声	年代
23 地域産業（続き）	若者向けのお店（カフェなど）が増えてほしい。163号線沿いなど、にぎわってほしい。	30～40代
	（田舎暮らしを希望）商店街をもっとよくしてほしい。	30～40代
	商店街がさびしい。1人用で少量売ってほしい。	70代以上
	大阪市旭区との連携があると良い。（プレミアム券が大日イオンでは使えない等 大阪市民）	70代以上
24 魅力創造・発信	もり吉のはっぴを売ってほしい。（できれば安価で）	30～40代
	アピールするのにあまりお金を使っていない。	～20代
25 環境	マンションのゴミ捨て場に外から捨てる人がいてぐちゃぐちゃになる。	70代以上
	粗大ゴミ寝屋川みたいに無料になってほしい。	50～60代
26 行財政運営	財政難をアピールする割に施設がたくさんできているイメージがある。	30～40代
27 公共サービス	若者にやさしい政策が少ない。（高齢者向けのものが多い）お年寄りのまちというイメージ。	～20代